

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和5年10月13日(2023.10.13)

【公開番号】特開2022-178883(P2022-178883A)  
 【公開日】令和4年12月2日(2022.12.2)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-222  
 【出願番号】特願2021-85990(P2021-85990)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月4日(2023.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技パネルに取付可能な遊技球の流路を形成する流路形成部材を備えた遊技機において、

前記流路形成部材は、

前記遊技パネルに形成された開口領域の前側に取付可能であり、前記開口領域の一部と正面視で重なる特定部を有しており、

前記特定部と正面視で重ならない前記開口領域は、遊技球が前後方向に流通可能なアウト開口領域として機能するものであって、

30

前記特定部は、前記アウト開口領域の外縁の少なくとも一部を形成し、外部から接触可能とされ、

前記特定部の幅は遊技球の直径よりも小さい

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

40

近年では、環境問題を背景とした資源の有効利用が更に重要性を増している。そのような観点から、遊技機では、より多く部品をリサイクル可能な材質で形成する開発が進められている。またその一方で、遊技機を設置している遊技ホール(遊技店)での機種の入れ替えサイクルが短くなっており、遊技機の廃棄・解体数は増加傾向にある。そのため、遊技機の分解及び分別に掛かる負担は大きくなっており、その作業を少しでも軽減させたい要望がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0003】

例えば、特許文献1に示すような従来の遊技機では、分解するために、入球口として複数の一般入賞口が設けられているサイドユニット（入球ユニット）を前方へ引っ張って遊技パネルから取外そうとすると、入球ユニットが撓むことで遊技パネルの位置決孔に挿入されていた位置決突起が傾いてしまい、分解作業に手間がかかる問題があった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

10

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2017-018185号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、リサイクル等のために分別する際の分解作業を

20

軽

減することが可能な遊技機の提供を課題とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目的を達成するため本発明は、

遊技球が流下可能な遊技パネルに取付可能な遊技球の流路を形成する流路形成部材を備えた遊技機において、

30

前記流路形成部材は、

前記遊技パネルに形成された開口領域の前側に取付可能であり、前記開口領域の一部と正面視で重なる特定部を有しており、

前記特定部と正面視で重ならない前記開口領域は、遊技球が前後方向に流通可能なアウト開口領域として機能するものであって、

前記特定部は、前記アウト開口領域の外縁の少なくとも一部を形成し、外部から接触可能とされ、

前記特定部の幅は遊技球の直径よりも小さい

ことを特徴とする。（例えば、段落[1414]～段落[1464]、図112～図114等参照。）

40

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

50

【補正の内容】	
【手続補正 9】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0009	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 10】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0010	
【補正方法】削除	10
【補正の内容】	
【手続補正 11】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0011	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 12】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0012	
【補正方法】削除	20
【補正の内容】	
【手続補正 13】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0013	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 14】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0014	
【補正方法】削除	30
【補正の内容】	
【手続補正 15】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0015	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 16】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0016	
【補正方法】削除	40
【補正の内容】	
【手続補正 17】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0017	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 18】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0018	
【補正方法】削除	50

【補正の内容】	
【手続補正 19】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0019	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 20】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0020	
【補正方法】削除	10
【補正の内容】	
【手続補正 21】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0021	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 22】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0022	
【補正方法】削除	20
【補正の内容】	
【手続補正 23】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0023	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 24】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0024	
【補正方法】削除	30
【補正の内容】	
【手続補正 25】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0025	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 26】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0026	
【補正方法】削除	40
【補正の内容】	
【手続補正 27】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0027	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 28】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0028	
【補正方法】削除	50

【補正の内容】	
【手続補正 29】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0029	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 30】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0030	
【補正方法】削除	10
【補正の内容】	
【手続補正 31】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0031	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 32】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0032	
【補正方法】削除	20
【補正の内容】	
【手続補正 33】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0033	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 34】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0034	
【補正方法】削除	30
【補正の内容】	
【手続補正 35】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0035	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 36】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0036	
【補正方法】削除	40
【補正の内容】	
【手続補正 37】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0037	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 38】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0038	
【補正方法】削除	50

【補正の内容】

【手続補正 39】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

このように、本発明によれば、リサイクル等のために分別する際の分解作業を軽減する  
こ  
とが可能な遊技機を提供することができる。

10

20

30

40

50